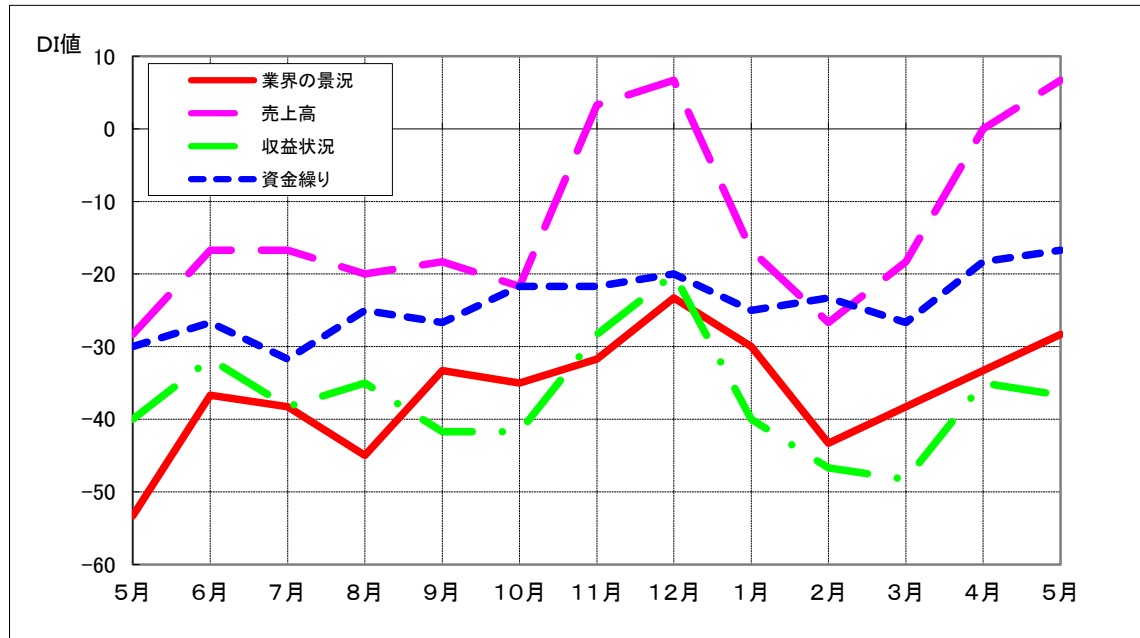


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和3年5月～令和4年5月

単位:ポイント



	R3					R4								
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
業界の景況	-53.3	-36.7	-38.3	-45.0	-33.3	-35.0	-31.7	-23.3	-30.0	-43.3	-38.3	-33.3	-28.3	
売上高	-28.3	-16.7	-16.7	-20.0	-18.3	-21.7	3.3	6.7	-16.7	-26.7	-18.3	0.0	6.7	
収益状況	-40.0	-31.7	-38.3	-35.0	-41.7	-41.7	-28.3	-20.0	-40.0	-46.7	-48.3	-35.0	-36.7	
資金繰り	-30.0	-26.7	-31.7	-25.0	-26.7	-21.7	-21.7	-20.0	-25.0	-23.3	-26.7	-18.3	-16.7	

5月のDI値は前月と比べ、3項目改善、1項目悪化であった。「売上高」DI値は6.7ポイント、「業界の景況」DI値は5.0ポイント、「資金繰り」DI値は1.6ポイントそれぞれ改善し、「収益状況」DI値は1.7ポイント悪化した。

前年同月比においては全項目で改善し、「売上高」DI値は35.0ポイント、「業界の景況」DI値は25.0ポイント、「資金繰り」DI値は13.3ポイント、「収益状況」DI値は3.3ポイントそれぞれ改善した。

組合員からは、業種を問わず、各種原材料の価格高騰による収益状況の悪化に関する報告が多かった。

製造業・建設業では一部で仕事量や出荷量が増加し、輸出が好調な企業では円安により売上が増加している。しかし、全体的に原材料の価格高騰や機器の納品遅れ、原油高騰の影響を受けており、今後に対する不安感、先行き不透明感を危惧する声が多い。未だ価格転嫁が難しい業界もあり、企業によってばらつきがあるようである。

非製造業では、新型コロナウイルス感染症の影響がまだ続いているものの、地域や業種によっては客足が戻りつつあり回復傾向にある。商品の単価高や出荷の減少、納品遅れによる品薄が売上に影響しているといった報告もあった。